

西川ひとし

奈良県議会議員
会派・自民党奈良
(葛城市選挙区)

リニア中央新幹線開業見据え 2月定例会速報 令和4年度当初予算 **5,503** 億円 +2.5%

【お知らせ】 次回の6月定例会では代表質問を行うことになりました。

奈良県議会2月定例会は令和4年度の一般会計予算などを承認可決し、3月25日に閉会いたしました。私は予算審査特別委員会の委員長を仰せつかわり、責務に精励いたしました。今年度の当初予算は5,503億円と前年度の当初予算に比べて2.5%増となりました。ただし、2月の補正予算544億円を計上しており、全体の予算は6,048億円となっています。新年度予算のポイントとしては、15年後のリニア中央新幹線の全線開業を見据えた予算編成となっているのが特徴といえます。今回の県政報告はこの新年度予算の中身に迫っていききたいと思います。

県は荒井知事が就任以来、「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」ため、その実現に向け県政諸課題に取り組んできました。そして、いよいよリニア中央新幹線の全線開業と奈良市附近駅の設置が、15年後に迫ってきました。15年は決して遠い未来の話ではなく、今年度は奈良県のこれからの考える節目となりそうです。県もその点を踏まえ、さらに大きく発展する奈良県の姿を、現実のものとして構想し、実現していく年だと位置付けています。今年度から、リニア中央新幹線「奈良市附近駅」の早期確定をはじめとして、大規模広域防災拠点の整備、リニア中央新幹線―関西国際空港接続線の具体化の三つのプロジェクトを、一体的に進めていくとしています。また、リニア中央新幹線の開業時期を目標として、大和平野中央スーパーシティ構想（注①）の実現、京奈和自動車道の全線概成等にも取り組み、今後の奈良県発展の屋台骨となるプロジェクトを基軸にして、「奈良新『都』」づくり戦略2022をまとめています。令和4年度予算は、この戦略をベースにしています。もちろん新型コロナウイルス感染症対策にも、きめ細かく取り組むとしています。

■新年度予算の焦点

「奈良新『都』」づくり戦略2022に盛り込んだ諸施策を着実に実行するとして①未来への投資となる主要なプロジェクトを結実に向け積極的に推進②ポス

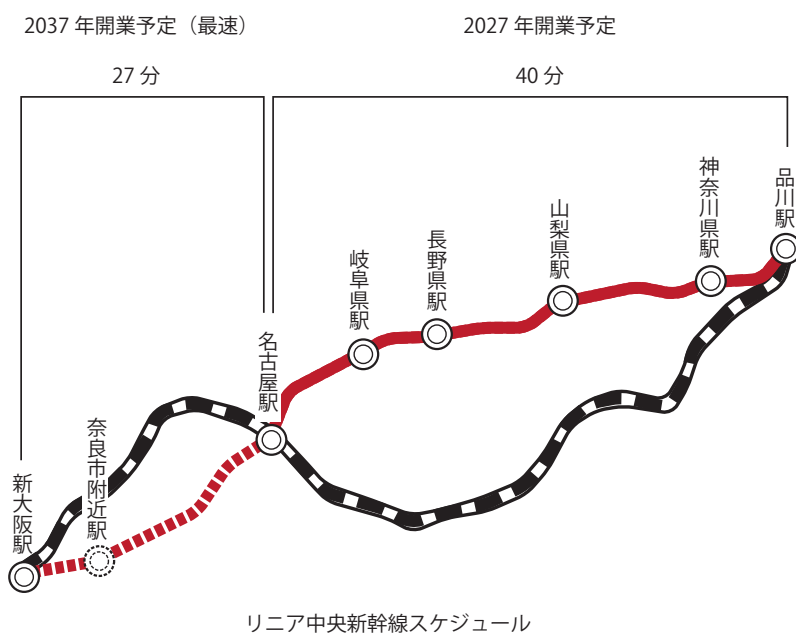
トコロナ時代の新しい社会経済構造への対応を図る③高齢化の進展等に伴う主な社会保障関係経費の増加に適切に対応することと併せて、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期して取り組む一など。

■予算の主な増加要因

■大規模広域防災拠点の整備+43億円 ■奈良県立医科大学の移転整備（新キャンパス先行整備等）+54億円 ■御所1C周辺産業集積地形成+4億円 ■いまなら。キャンペーン+8億円 ■奈良つ子はぐくみキャンペーン+3億円 ■市町村財政健全化支援+4億円 ■公共事業+16億円 ■災害復旧事業+18億円 ■社会保障関係経費+19億円 ■新型コロナウイルス感染症対策+19億円 ■県税交付金+16億円

■主な減少要因

■県立高等学校の耐震化整備△44億円 ■NAF1C附属セミナーハウスの整備△14億円 ■人件費△11億円 ■公債費△17億円 【裏面に続く】



リニア中央新幹線スケジュール

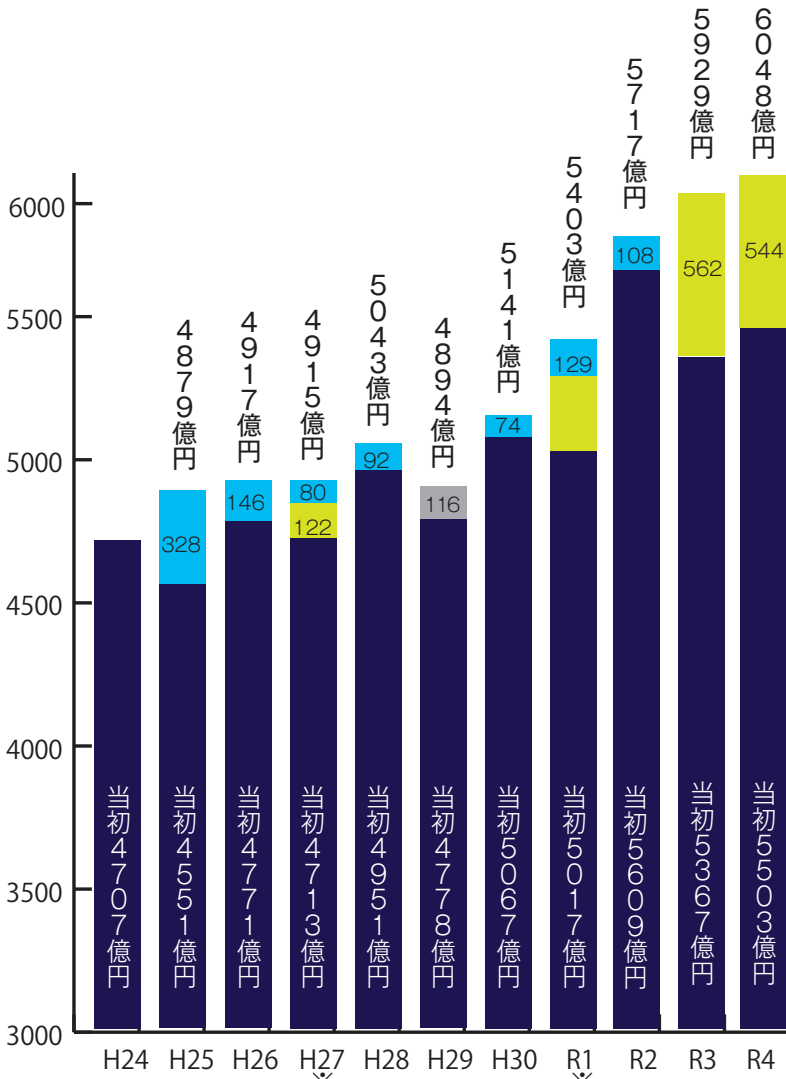
注①【大和平野中央スーパーシティ構想】県と磯城郡の川西町、三宅町、田原本町の3町で、先端的なサービスで未来社会を先行実現する国の戦略特区「スーパーシティ」構想の区域指定を目指しており、4者は様々な分野で検討を進め、国に提出する案をまとめることとしています。

重点施策

【表面から続く】今年度の予算が15年後を見据えたものであることは表面で紹介しましたので、裏面では県が進める重点的な取り組み9項目をかいつまんでご紹介いたします。

▽栄える「都」をつくる
働きやすい、就業しやすい奈良県をめざして、京奈和自動車道御所〜C周辺の産業集積地形成、地域における人材育成、就労の促進、再就職の支援に取り組みこととしていきます。

▽賑わう「都」をつくる
奈良が有する自然・歴史・文化などの奈



一般会計予算規模の推移
(※知事選挙)

良が強みとするアセットを活用し、観光産業の振興に力を入れます。具体的には平城宮歴史公園の整備、奈良公園周辺の魅力向上づくりを進めることとしていきます。

▽愉しむ「都」をつくる

県民が安心して快適に暮らし続ける奈良をつくるとして、大規模広域防災拠点の整備や政策条例を制定し奈良っ子育みのプロジェクトを展開します。具体的にはなら歴史芸術文化村における幼児向けアートや音楽プログラムなどです。

▽便利な「都」をつくる

県土マネジメントを推進し、効率的で便利な交通基盤をつくることとしています。特に工事が進行している京奈和自動車道やリニア中央新幹線の「奈良市附近駅」の早

期確定と関西国際空港接続線などに力をいれます。

▽健やかな「都」をつくる

健康長寿日本一を目標にして、高齢者や障がい者を含む、誰もが健やかに暮らせる地域づくりを進めるとしています。その要として、まほろば健康パークの機能を強化するほか、政策条例を制定し福祉の奈良モデルを推進することとしています。

▽智恵の「都」をつくる

すべての県民が、生涯通して学びを続けられることや奈良の歴史文化に親しめる地域づくりを目指すこととしています。一例をあげると「飛鳥・藤原」の世界遺産登録の推進や国際交流の強化・拡大です。

▽豊かな「都」をつくる

農林水産・畜産業の活性化を図るとともに、その核となる県中央卸売市場（大和郡



予算審査特別委員会に臨む筆者(中央)

山市)の再整備を進めます。また、林業活性化では「奈良県フォレスト制度」(注②)を確立することとしています。

▽誇らしい「都」をつくる

奈良のポテンシャルをいかしたまちづくりを進め、地域の新たな未来を切り開くというテーマのもと、県と市町村協働の南部・東部地域の振興(県条例制定)や大和野中央スーパーシティ構想に取り組みこととしています。

▽爽やかな「都」をつくる

効率・効果的な行政マネジメントを行うこととし、デジタル化を進めることとしています。例えば行政サービスがスマートフォンでも行えるように取り組むほか、医療の面では県立医科大学周辺のまちづくりも進めるとしています。

注②「奈良県フォレスト制度」山の管理を具体的に「フォレスト」を参考にした奈良県独自の山の管理制度。林業と災害防止の両面で管理しようというものです。



県政に関する疑問や質問は、西川ひとしにお寄せください。

〒639-2141 葛城市弁之庄58-2
TEL:0745-69-1234 FAX:0745-69-7891